

夏休み親子工作教室

7月19日(土)。PTA母親委員会主催の親子工作教室が開催されました。大変暑い中でしたが、1時間ほど、理科室で親子楽しく工作に取り組みました。参加者は、日本アートリュミエール協会認定講師の★★先生から優しく手ほどきをいただきながら「ペン立て」「キーホルダー」「ペットボトルキャプカバー」を作りました。製作した作品を大切に持ち帰る姿が大変微笑ましく、印象的でした。



親育ちコーナー

「未来を生き抜くチカラを育てるために」(2) 教育推進課
脳の2つの特質とそれを踏まえたトレーニング法をお伝えします。

1つ目:脳は放っておいたら、マイナスのことを考えるようにできています。ですから、マイナスのことを考えないようにするトレーニングをしなければならないということです。

2つ目:脳は文の後ろの方にひっかかるという特性があります。ですから、「心配だな～、でも、大丈夫」で終わればいいんです。「効率が悪いな～でもこれが未来を生きる力をつけるんだ」「失敗しちゃだろ～でも、それが成長へのチャンス」という感じですか。無理やりです。トレーニングなんです。そうやってトレーニングしていけば、少しずつプラスに目が向くようになって、子どもの決定にも寛容になれるという流れです。プラスの言葉を使う、マイナスの言葉を使ったとしても、プラスで終わるようにトレーニングする。そして、「ちょっと待つ」時間をとって、子どもに「自分で決める」という経験をさせてください。

「未来を生き抜くチカラを育てるために」(3) 教育推進課
次は「心理学」の面から見てみましょう。

目的論、という言葉を知っていますか？ 目的論と対比させるのは、原因論です。子どもが宿題をやらずに塾にいったとします。原因論的にこう聞いてみました。なんでやってこなかったの？ 「習い事が・・・」「どこやったらいいかわからなくて・・・」「ノートがなくて・・・」「友達が・・・」「お母さんが・・・」、出てくる出てくる、言い訳のオンパレード。「全部、人のせい。私は犠牲者」です。原因論で関わった場合、「自分で決める」というトレーニングにはなりにくいです。また、一方で、全て「過去に起きた出来事」です。過去の出来事は変えられません。変えられない答え、解けない問題に対して、

自分から何かをやると思うことは難しいです。つまり、原因論で考えると、「自分で考えよう」という心理になりにくいということです。

9月行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	金		16	土	
2	土		17	日	
3	日		18	月	敬老の日
4	月	12年連れ去り防止教室	19	火	係会
5	火	委員会	20	水	全校練習
6	水		21	木	
7	木	係会 PTA地区委 PTA研修委	22	金	全校練習 運動会準備
8	金	14年心電図検査	23	土	運動会(雨天授業)
9	土		24	日	運動会予備日(雨天休み)
10	日		25	月	運動会予備日 振替休業日
11	月		26	火	委員会 弁当 24・25日運動会の場合振替
12	火	係会	27	水	なかよし 5年陶磁器フェス見学
13	水	全校練習	28	木	
14	木	全校練習 係会	29	金	
15	金	教育長訪問 PTA交通当番	30	土	

10月の主な行事 ※詳しくはHPを参照してください。

2日(月)お弁当の日	16日(月)PTA交通登板
4日(水)4年ガサガサ探検 2年親子行事 PTA本部会	
6日(金)前期終業式	20日(金)6年校外学習
10日(火)後期始業式	25日(水)1年校外学習
分団会	26日(木)4年音楽祭参加
12日(木)4年校外学習	28日(土)授業参観・教育講演会
13日(金)挨拶で絆の日 6年親子行事	
15日(日)資源回収	30日(月)振替休業日

お知らせ

4年1組担任の★★先生が、8月9日より産前休暇に入りました。後任として★★★★先生が、4年1組担任として赴任されました。よろしくお願いいたします。